

このたびは三菱照明器具をお買上げいただき
ありがとうございます。

保管用

三菱蛍光灯器具 (高調波ガイドライン適合品)
コンパクト蛍光灯ペンダント

形名 **BP6013, BP6013L, BP6043, BP6043L**

取扱説明書

電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ ○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客様にお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
○ 絶対に行わない
で行ってください。

禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉じんのある所で使わない。)	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があるもの
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		施工は電気設備の技術基準内線規程に従い行う。
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)	注意	取付方向指示のある器具は、本体表示及び取扱説明書に従い施行する。 (指定以外の取付けは、器具の落下、感電の原因)

禁止	高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所を使わない。(落下感電・火災の原因)	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または表示された電源電圧以外では使わない。 (火災感電の原因)
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災感電の原因)	注意	不安定な場所や燃えやすい物の近くで使わない。 (倒れて火災の原因)
禁止	雨水のかかる場所では使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)	注意	調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)

お願い

■器具の周辺温度が5〜35℃の範囲で使用してください。
■空調機器等の排気口・温風出口付近の取付けはお避けください。
(落下の原因となります。)

■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

お客様さまへ
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立ててください。

安全のために必ずお守りください

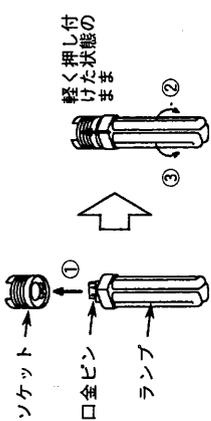
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
○ 絶対に行わない
で行ってください。

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災感電・落下の原因)	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があるもの (器具感電・感電の原因)
	おさま yourself で電気工事ほしない。電気工事士などの資格が必要だ。 (火災感電の原因)		ランプは落としたり、(物を)ぶつけたたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけけがの原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけけがの原因)	注意	器具の取付条件や商品周囲の温度に注意する。 (照熱される商品の劣化)
禁止	器具の直下や近くにストープなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)	注意	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

ランプ交換 器具の清掃

- ランプ交換**
- ① 口金ピンをソケットに差し込む。
 - ② 軽く押し付け右回転(約15°)させて取付ける。
 - ③ 取りはずす場合は軽く押し付けながら逆方向(左回転)に回転させる。



- 清掃**
- ランプ交換の際、必ず本体の清掃も行ってください。本体表面の穴にほこりがたまり、過熱して火災の原因となります。

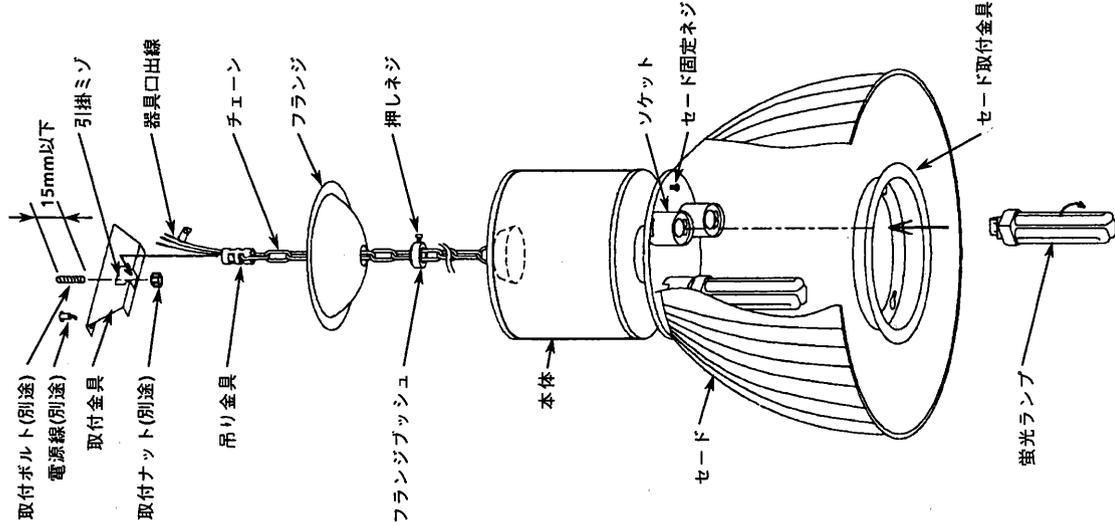
インバータ器具の取扱

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
(雑音が入ったり正常に作動しない場合があります。)

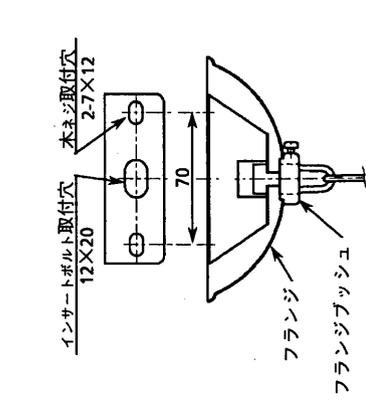
異常時の処置

△警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。
煙が出なくなると、工事店または下記連絡先にご相談ください。

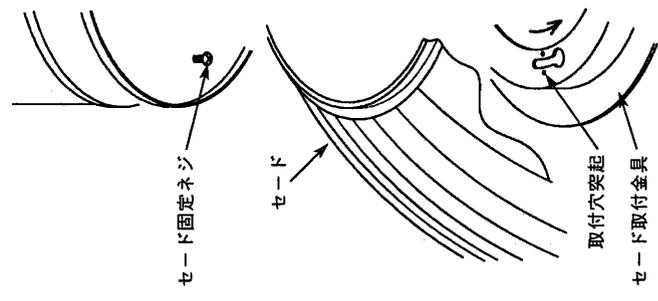
△警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



△注意
器具の取付条件や、商品周囲の温度に注意する。
(冷電設備のない商品平台照明では、商品によって劣化の場合があります。)

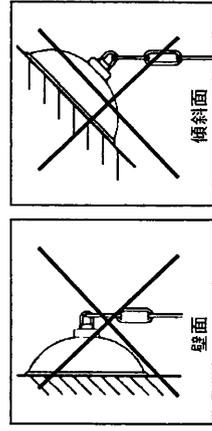


お預け
チェーンの長さを測る場合には右図のようにチェーンを開きつけてください。また、一度開いたチェーンは再度開かないように、ご注意ください。



1 取付前の確認

- 器具重量(5Kg)に十分耐えるようボルト取付部の強度を確保する。
- 天井取付専用器具です。壁面や傾斜した天井には取付けません。
- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付けます。



△警告
器具の取付けは重量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

2 取付金具を取付ける。

- 取付金具を天井内の補強材のある位置に取付ボルトまたは本ネジで確実に取付ける。
- 取付ボルトは天井面より15mm以上出さない。吊り金具が取り付かなくなります。

△警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 吊り金具を取付金具に取付ける。

- 口出線を引掛けミゾより通してから、取付金具の引掛けミゾに吊り金具を引っ掛ける。

4 電源線を接続する。

- 電源線と器具口出線を確実に接続する。
- 高電位側は器具側の黒線と接続する。
- アース線を接続する。
- <第3種接地工事が必要です。>

△警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

5 フランジを取付ける。

- フランジを手で押し上げ、フランジブッシュの押しネジで固定する。

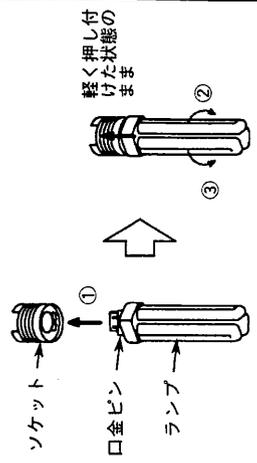
6 セードを取付ける。

- 本体のセード固定ネジをゆるめ、セードをはめ込み、セード取付金具ではさみ込むように取付け、セード取付金具の取付穴突起を越えた位置で、セード固定ネジで確実に締めつける。

△注意
取付けが不完全な場合落下の原因

7 ランプを確実に取付ける。

- ①口金ピンをソケットに差し込む。
- ②軽く押し付け右回転(約15°)させて取付ける。
- ③取りはずす場合は軽く押し付けながら逆方向(左回転)に回転させる。



△注意
ガラス管を強く握らない。
(割れてけがの原因)

△注意
取付けが不完全な場合落下の原因